

三枝国際特許事務所・食品新聞社 共催セミナー

第一部

短期間で海外販路開拓
に取り組む方法

海外市場を把握するステージは輸出です。イオングループで、海外業務に特化したスペシャリストとして30年の経験を持つ講師が、流通事情・価値観の異なる海外に継続的に日本食品を輸出するために必要な基本知識・戦略を、事例を交えながら解説します。



講師：山崎次郎

株式会社グローバルセールス
代表取締役

第二部

日本の食品特許発明

日本では、機能性表示食品、特定保健用食品などの健康にかかわる機能を保護する用途特許が数多く成立していますが、パラメータを工夫することで食品の物質特許も得られています。どのような観点で食品発明を捉えることで有効な特許が得られるのかのヒントを事例をもとに解説します。



講師：斎藤健治

三枝国際特許事務所
東京オフィス所長海外進出と特許で見る
食品業界のこれから

第三部

公開インタビュー
食品特許と海外進出に切り込む

今後、ますます重要となる「特許」と「海外進出」というキーワード。それぞれの専門家の本音に切り込みます。

インタビュアー：
山口貢株式会社食品新聞社
代表取締役社長

2020.01.31

金

13:30-17:20 (13:00開場)

TKP東京駅セントラル カンファレンスセンター
カンファレンスルーム11B

セミナープログラム

13:30~13:35	開会のご挨拶
13:35~15:05	第一部 短期間で海外販路開拓に取り組む方法
15:05~15:30	コーヒープレイク
15:30~16:30	第二部 有効な食品特許とは
16:30~16:40	休憩
16:40~17:20	第三部 公開インタビュー（食品特許と海外進出に切り込む）

●会場へのアクセス



●お申込みURL



<https://www.saegusa-pat.co.jp/202001seminar/>

●セミナーに関するお問い合わせ

三枝国際特許事務所 担当：柚木 (cr-saegusa@saegusa-pat.co.jp)